

2025年3月21日

本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目23番5号  
 J P R 千 駄 ヶ 谷 ビ ル  
 上場会社名 株式会社サニーサイドアップグループ  
 代 表 者 代表取締役社長 次原 悦子  
 (コード番号：2180)  
 問 合 せ 先 執行役員 経営管理部長 大竹 貴也  
 電 話 番 号 03-6894-3232

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状を分析・評価し、その改善に向けた今後の方針についてアップデートしましたので、お知らせいたします。

当社は、①資本コストを上回る資本収益性の達成、②市場評価の獲得、③資本コストの一層の改善について、対応を進めてまいりました。これまでの分析・評価を通じて、②市場評価の獲得を今後の重点課題と捉え、従来からの施策を継続しつつ、成長期待感の再醸成や業績の持続性・信頼感の確保に向けて、より一層取り組んでまいります。

- ①資本コストを上回る資本収益性の達成：中長期経営方針に沿ってコア事業を強化し、改善が継続したと評価
- ②市場評価の獲得：業績改善局面での評価獲得に課題、成長期待感の再醸成や業績の持続性が必要
- ③資本コストの一層の改善：予測可能性の向上への対応は着手段階にあり、通期業績検証後に改善を予定

詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）」をご覧ください。

### 主要経営指標の推移

(金額単位：百万円)

	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期
売上高	14,627	14,094	15,356	16,190	18,956	17,908
営業利益	610	420	519	767	1,296	1,465
経常利益	718	275	666	1,284	1,335	1,501
親会社株主に帰属する当期純利益(△当期純損失)	493	△210	298	581	884	795
1株当たり純資産(円)	153.13	135.17	151.30	178.92	238.78	266.20
1株当たり当期純利益(△当期純損失)(円)	33.42	△13.97	19.83	38.58	59.28	53.30
1株当たり配当額(円)	10.00	2.00	6.00	12.00	15.00	20.00
期末株価(円)	1,097	741	743	669	673	661
PBR(倍)	7.2	5.5	4.9	3.7	2.8	2.5
PER(倍)	32.8	—	37.5	17.3	11.4	12.4
ROE(%)	24.2	—	13.8	23.4	28.3	21.1

注：1. 2019年7月11日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。2018年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たりの指標を算定しております。

2. PBRは期末株価÷1株当たり純資産、PERは期末株価÷1株当たり当期純利益(実績)で算出しております。

以上

(本件に関するお問合せ先)

株式会社サニーサイドアップグループ 経営管理部 経営管理グループ TEL 03-6894-2241

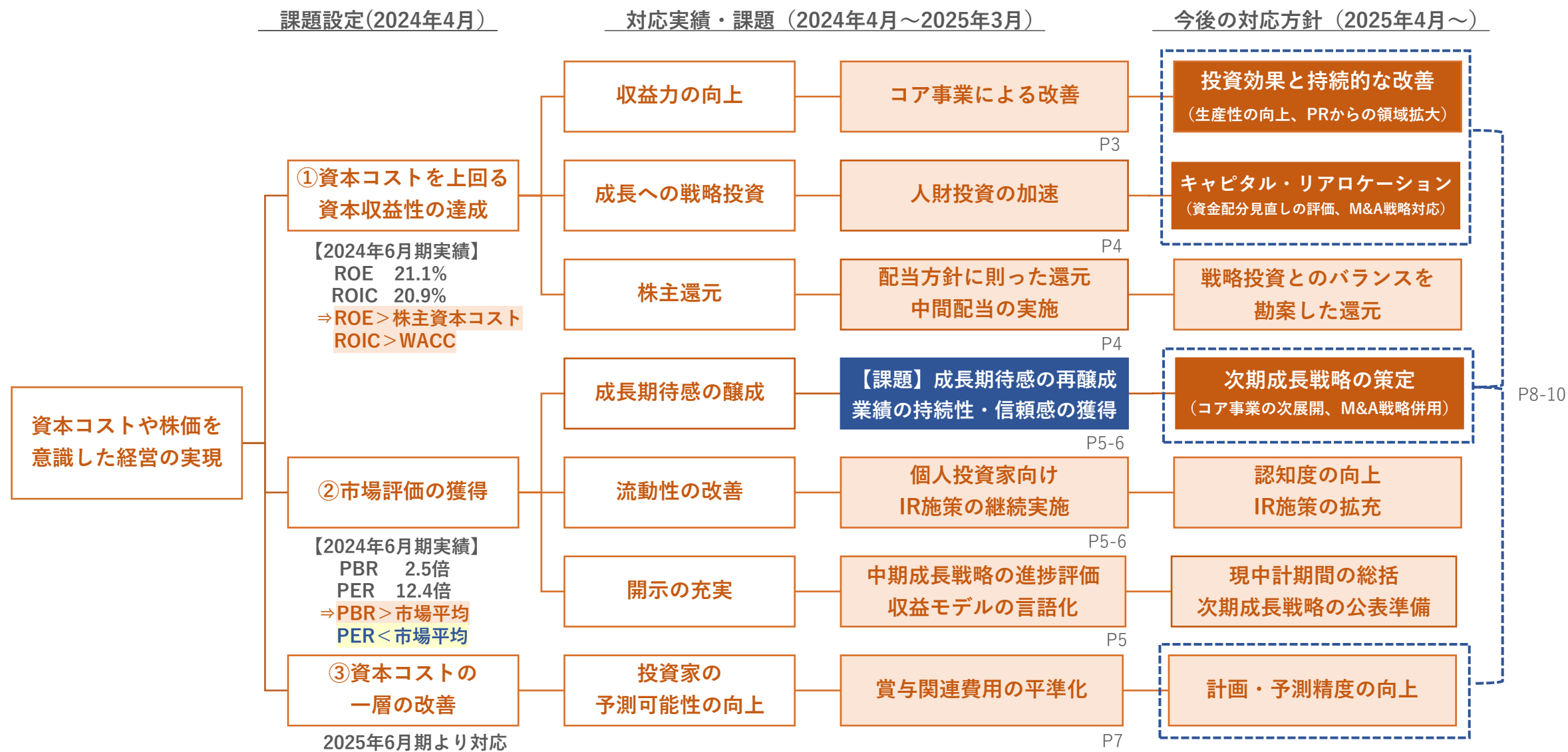


株式会社サニーサイドアップグループ  
資本コストや株価を意識した  
経営の実現に向けた対応について（アップデート）

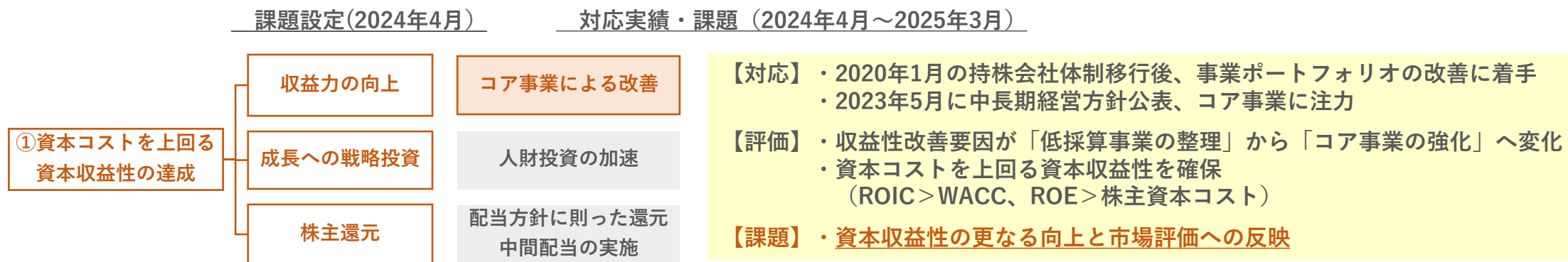
2025年3月

---

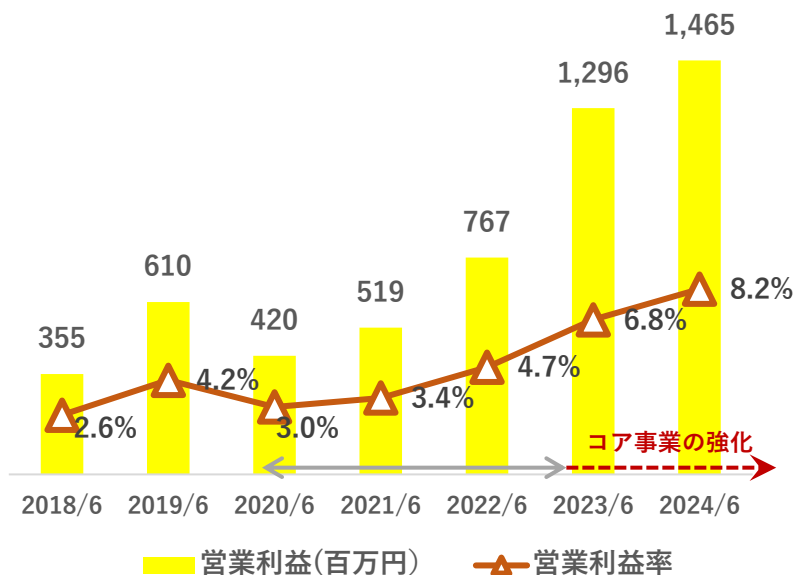
# 現状分析・評価に基づく今後の対応方針



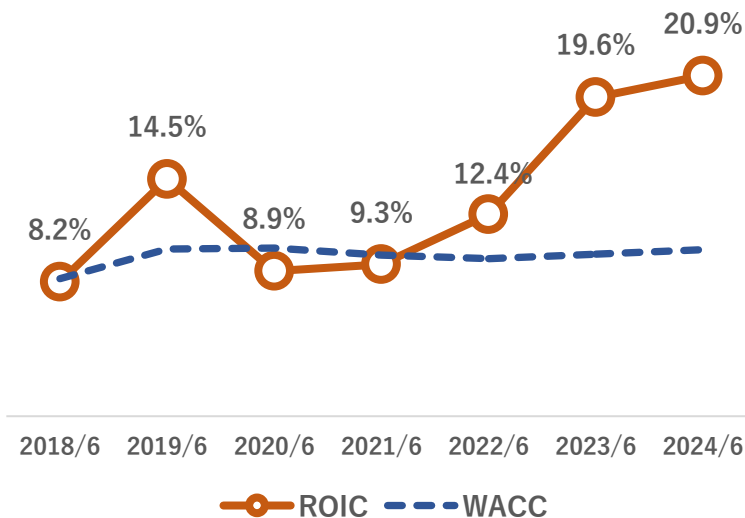
# ① 資本コストを上回る資本収益性の達成



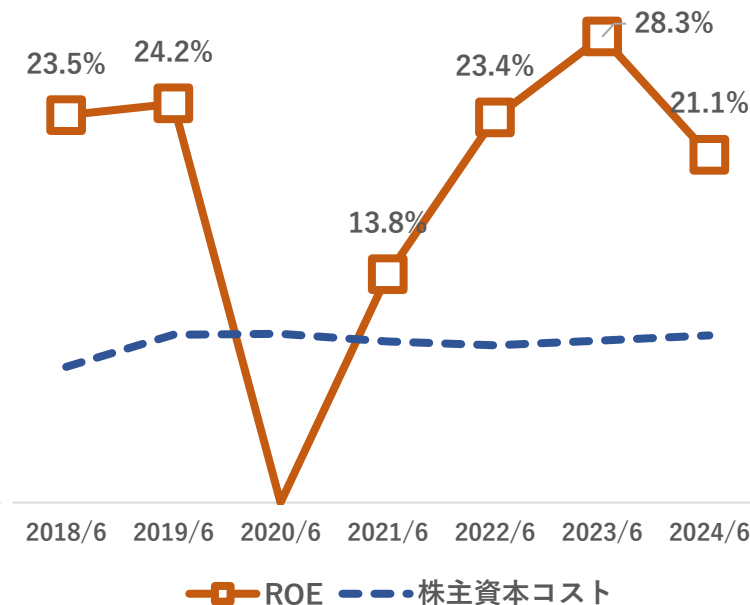
営業利益・営業利益率の推移



ROICとWACCの推移

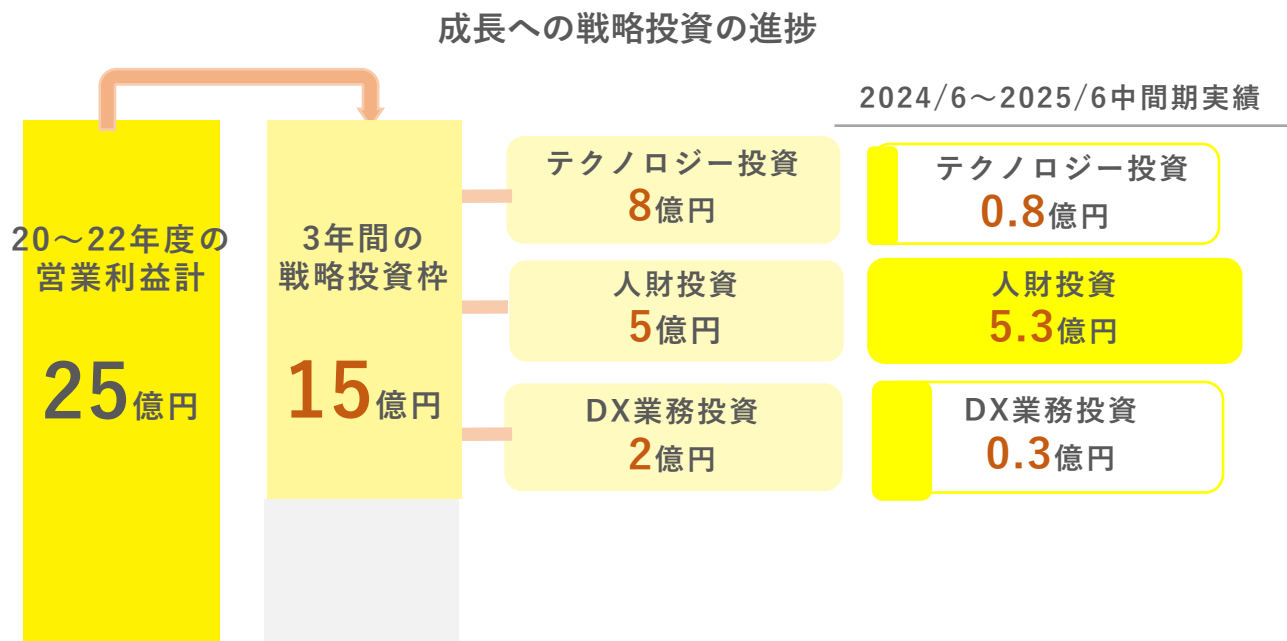
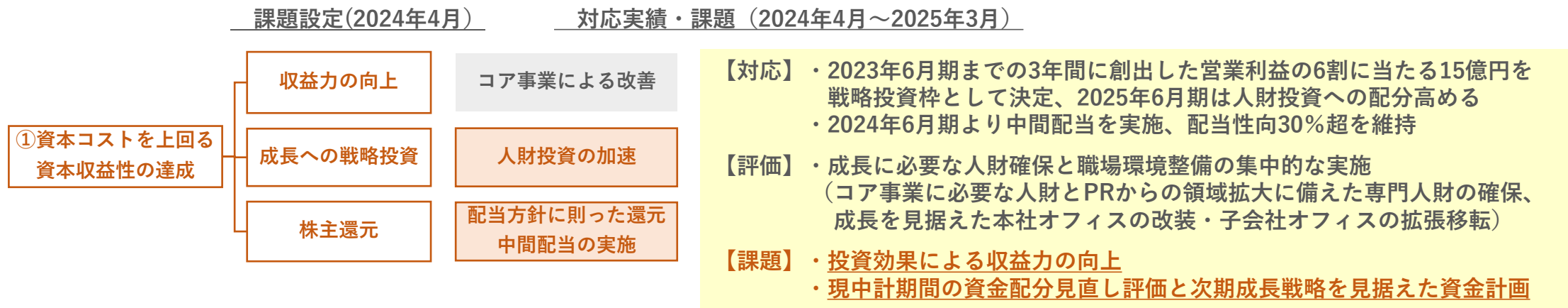


ROEと株主資本コストの推移

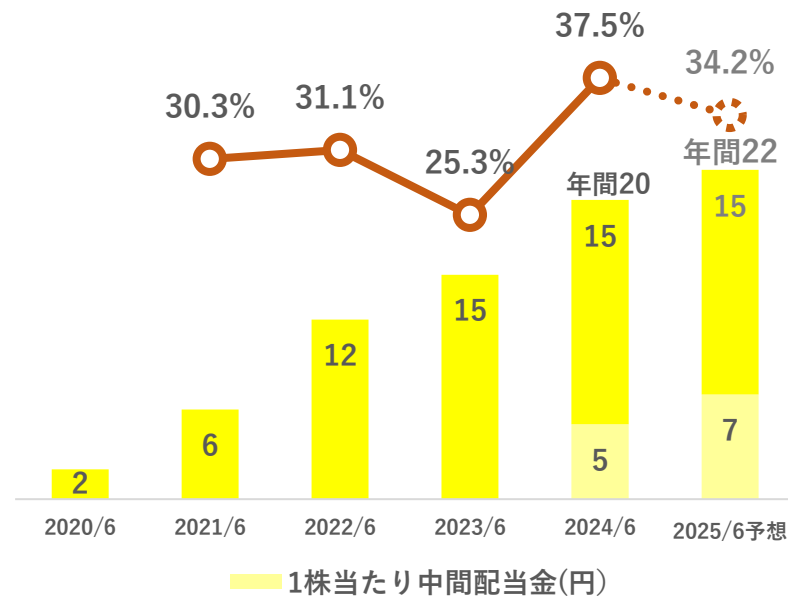


注：ROICはNOPAT（営業利益×（1 - 法定実効税率））÷（有利子負債+株主資本、期中平均）で算出しております。  
 株主資本コストはCAPMを用いて算出しております。

# ① 資本コストを上回る資本収益性の達成



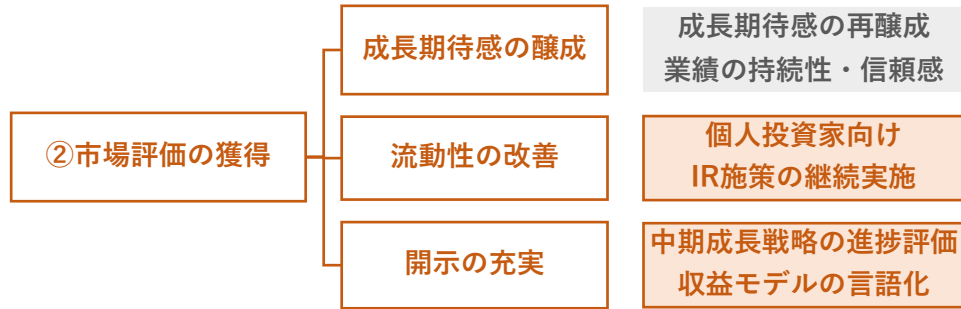
1株当たり配当金(中間・期末)と配当性向の推移



## ② 市場評価の獲得

課題設定(2024年4月)

対応実績・課題 (2024年4月～2025年3月)

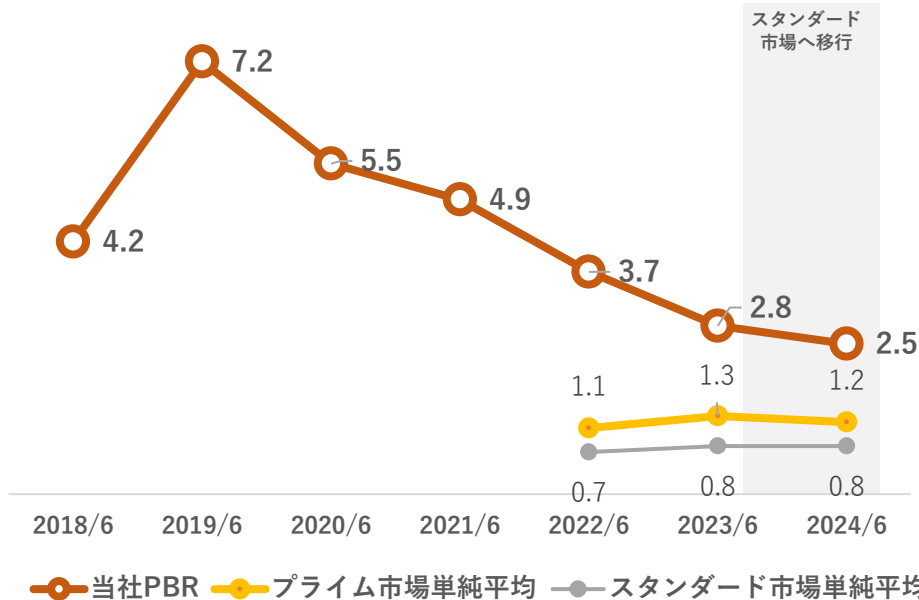


**【対応】** ・2023年5月に中長期経営方針を公表  
 ・公表後は個人投資家向けIR施策を中心に実施  
 (年間)IRセミナー2回、トップ説明動画配信3回、書き起こし配信4回  
 ・ビジネスモデルの理解を促す個人投資家向け情報コンテンツを作成

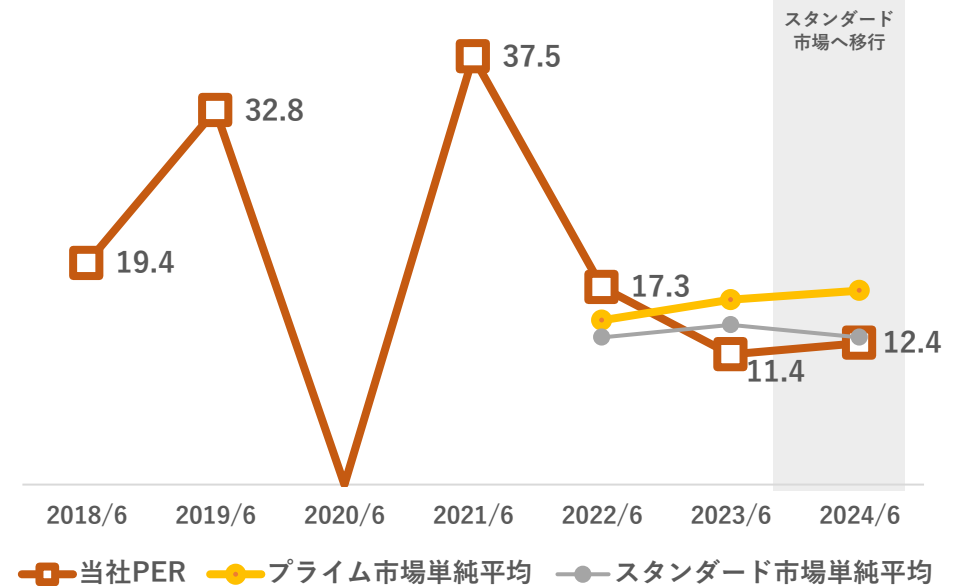
**【評価】** ・PBRは1倍超、市場平均より上位を維持  
 ・PERは業績回復局面でも低位、コロナ禍以前のような成長期待感が不足

**【課題】** ・中期成長戦略と業績改善双方による成長期待感の再醸成

PBRの推移



PERの推移

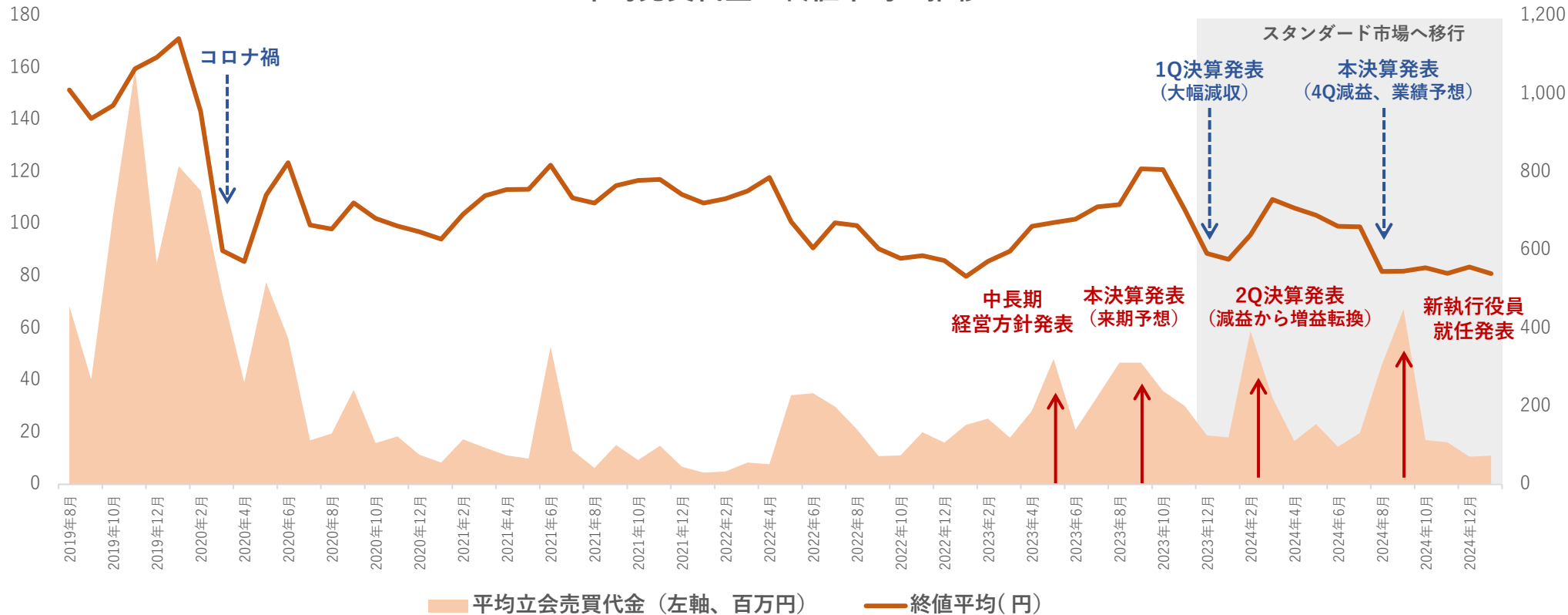


注：PBRは期末株価÷1株当たり純資産、PERは期末株価÷1株当たり当期純利益（実績）で算出しています。  
 プライム市場、スタンダード市場各平均値は年間の単純平均を記載しています。

## ② 市場評価の獲得

- 【評価】・直近2年は中長期経営方針や業績予想の発表を契機に流動性を改善  
 (平均売買代金：2022年平均 17百万円⇒2023年平均 30百万円⇒2024年平均 27百万円)  
 ・但し、流動性が改善されつつあるなかで決算発表後に2度株価が下落、市場評価を回復しきれず、流動性も低下
- 【課題】・成長期待感の醸成⇒流動性の改善⇒業績の持続性・業績への信頼感⇒市場評価の獲得の好循環維持

平均売買代金と終値平均の推移

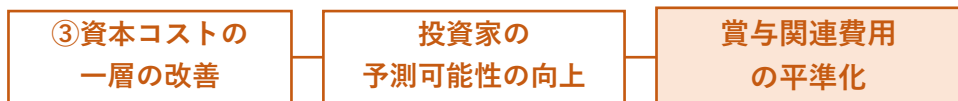


注： 2019年の平均売買代金には立会外を含んでおります。

### ③ 資本コストの一層の改善

課題設定(2024年4月)

対応実績・課題 (2024年4月～2025年3月)



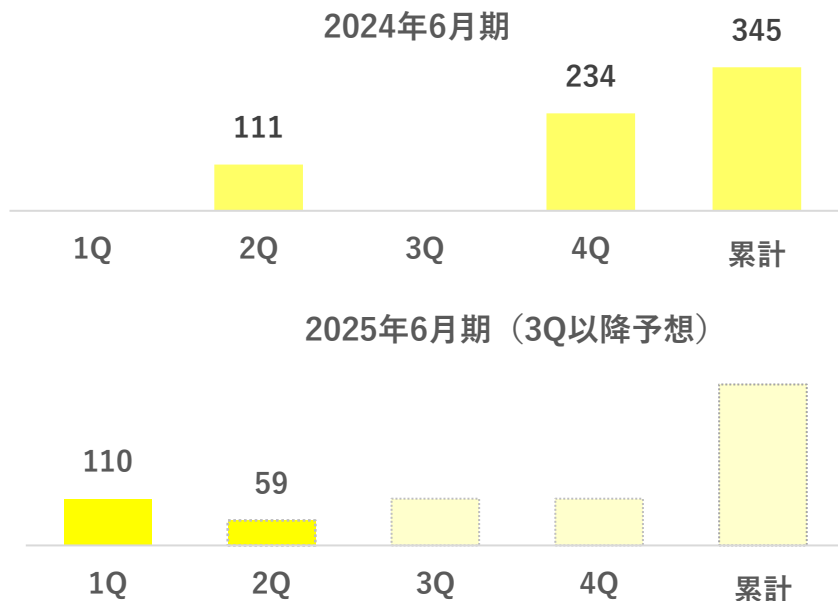
**【対応】** ・例年、期末にかけて業績予測を困難にする一因となっていた賞与関連費用を2025年6月期の事業計画より平準化、業績進捗を勘案して計上  
 ・販売管理システムの運用を見直し、ブランドコミュニケーション事業の売上予測を早期に把握

**【評価】** ・費用平準化の影響が大きい1Q決算発表後の株価変動を小幅にとどめる

**【課題】** ・2025年6月期からの対応につき、期末の検証を基に計画精度を高める

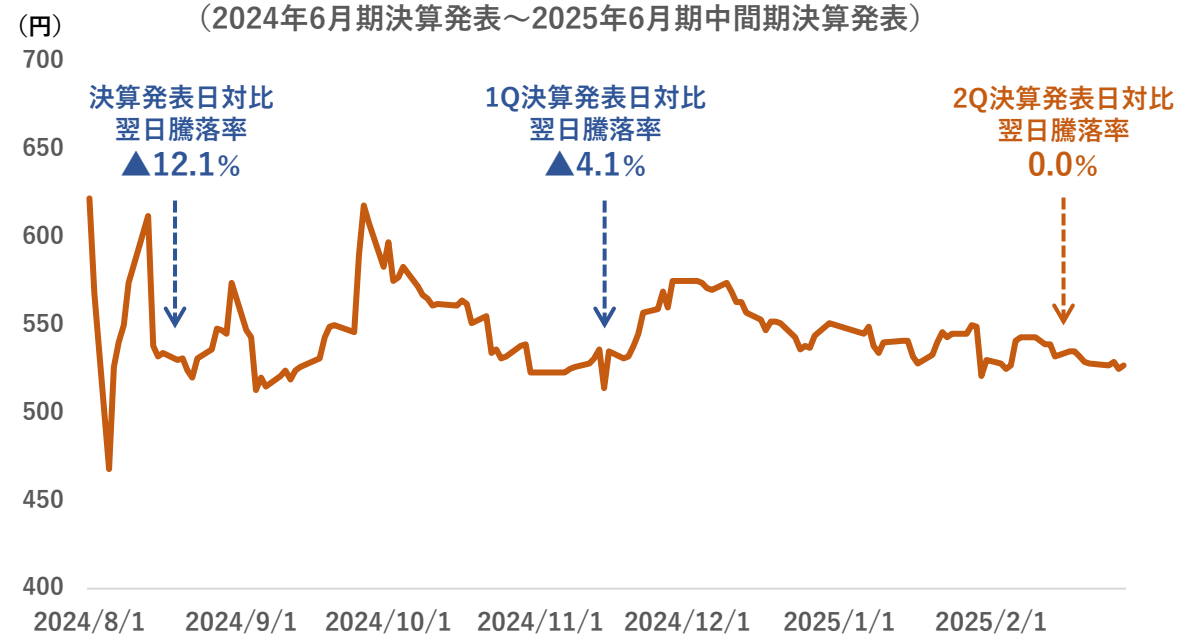
従業員賞与関連費用 (単位：百万円)

(販管費に含まれる賞与及び引当金繰入額、法定福利費)



株価の推移

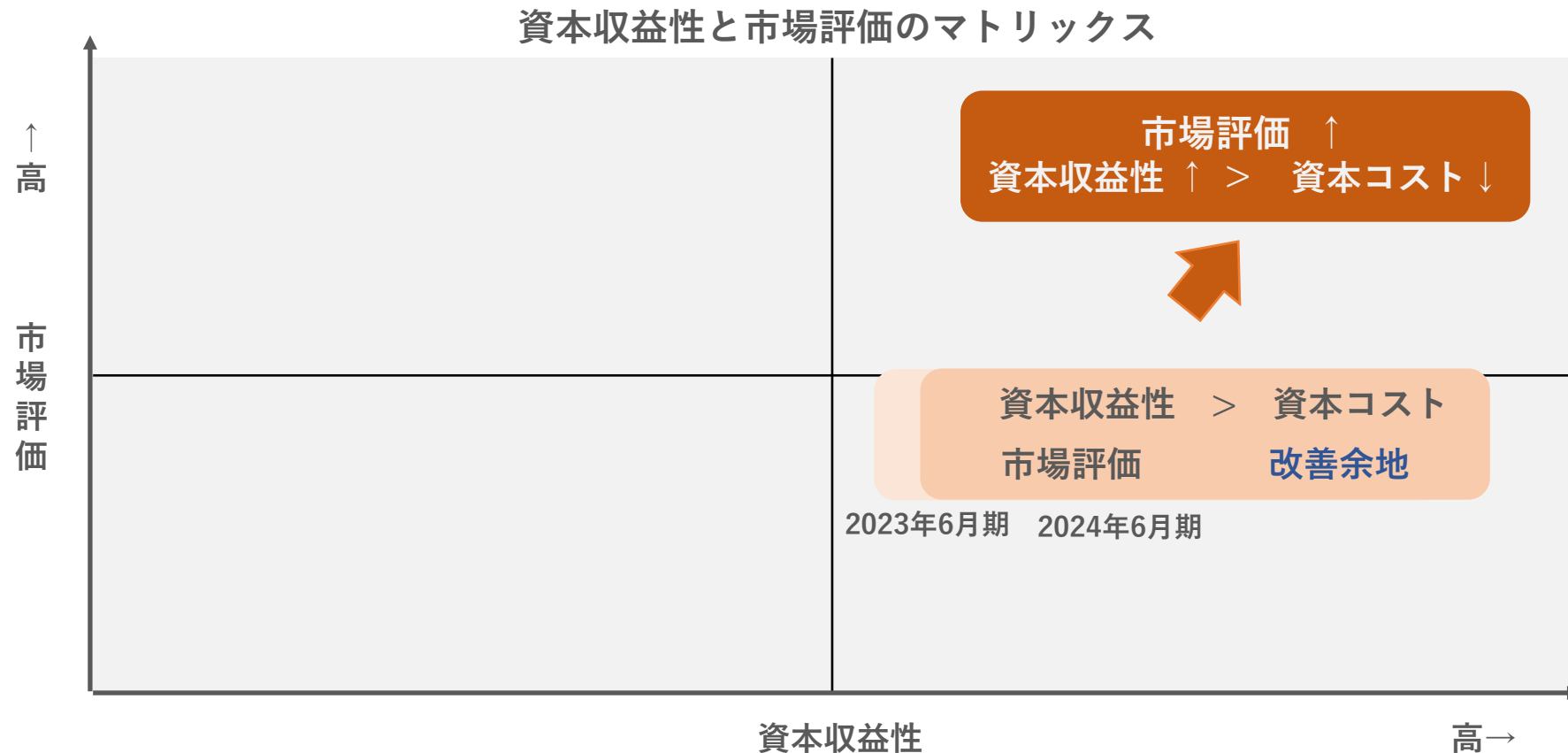
(2024年6月期決算発表～2025年6月期中間期決算発表)





## 重点課題の設定

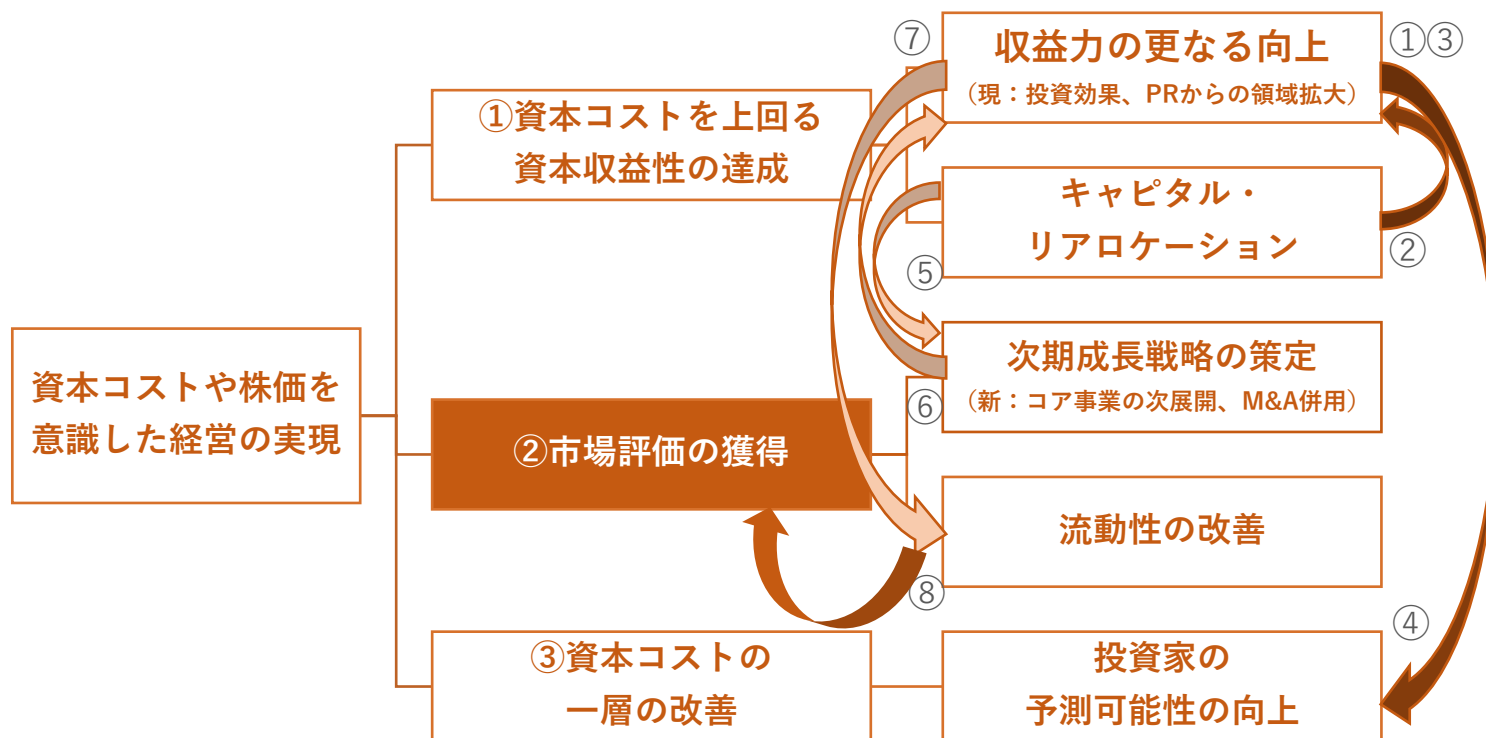
- 中長期経営方針に沿ってコア事業を強化、資本収益性が改善するなかで、市場評価に改善余地があると認識
  - 資本コストの改善(リスク・プレミアムの縮小)への対応は着手段階にあり、通期業績検証後に改善予定
- ⇒ **市場評価の獲得を重点課題に設定**(但し、資本収益性や資本コストの改善が前提のため、従来施策は継続)



## 重点課題への対応

- 市場評価の獲得に必要な業績の持続性と成長期待感の醸成に対し、期間で取組項目を分けて対応
  - ⇒ 現中計期間(残存15か月) : 業績の持続性と信頼感の獲得に注力、投資効果の最大化や予測精度向上を図る
  - ⇒ 次期成長戦略策定期間 : M&A再開に向けた資金再配分、コア事業の次展開への人財計画を策定
  - ⇒ 次期計画公表と遂行期間 : 成長期待感の再醸成へ開示・IR施策の拡充、資本収益性の持続的な改善

### 市場評価の獲得への対応



#### 【現中計期間】

- ①収益力の向上
  - ・ 戦略投資(人財投資)の効果による改善(生産性の向上、PRからの領域拡大)
- ②キャピタル・リアロケーション
  - ・ 資金配分見直しの評価・是正
- ③持続的な業績改善
- ④投資家の予測可能性の向上
  - ・ 賞与関連費用の平準化の検証

#### 【次期成長戦略策定期間】

- ⑤キャピタル・リアロケーション
  - ・ M&A再開に備えた財務戦略
- ⑥次期成長戦略の策定
  - ・ コア事業の次展開
  - ・ オーガニック成長からM&A戦略併用

#### 【次期計画公表と遂行期間】

- ⑦収益力の更なる改善
- ⑧流動性の改善(開示・IR施策の拡充)

## 対応スケジュール

- ・ 現中計期間と次期成長戦略策定期間は並行、必要な対応は一部前倒しで実施
- ・ 次期計画公表は2026年6月期第4四半期を想定

### スケジュール

		2025年			2026年				2027年
		6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月
現中計期間	業績の信頼感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 費用平準化の検証 ⇒計画への反映</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決算発表（業績予想）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 費用平準化の検証</li> </ul>		
	業績の持続性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画策定 (現中計進捗の評価)</li> <li>・ 資金計画策定 (配分見直しの評価と是正、自己資金中心)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間決算発表 (現中計総括)</li> </ul>				
次期成長戦略策定期間	キャピタル・リアロケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資金計画検討⇒策定（自己資金／借入金）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資金計画策定</li> <li>・ 人員計画策定</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資金計画確定</li> </ul>		
	成長戦略策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ M&amp;A戦略策定</li> <li>・ コア事業の次展開 (一部、現中計期間で前倒しで実施)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画策定</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画確定</li> </ul>		
次期計画公表と遂行期間	成長期待感の再醸成						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次期計画の公表 (開示の拡充)</li> </ul>		
							<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決算発表（業績予想）</li> <li>・ IR施策の実施・拡充</li> </ul>		

# Make World Better

たのしいさわぎで明日の希望をつくる

- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- ・本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、事業環境の変化等の様々な要因により、記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。

< 本件に関するお問い合わせ >

株式会社サニーサイドアップグループ 経営管理部経営管理グループ

TEL : 03-6894-2241 mail : keiki@ssu.co.jp